

# 笠 コ ン フ レ ーム

国土交通省NETIS（新技術情報提供システム）掲載期間終了

## 矢板笠コンのプレキャスト化!

水路、河川や湖沼などの護岸には、鋼矢板、コンクリート矢板による工法が用いられています。矢板の設置後には、上端部を『笠石』としてコンクリートが現場打ちされています。

このような現場条件は一般的には、矢板工の前側は水辺で、後側の陸地は法面などで狭くなっており、とりわけ、前側の水辺では水位や流速が変動し、かつ強風による波浪を受けるなど、悪条件での、舟などによる型枠の設置や、配筋の作業はかなり厳しいものです。

これらの課題を一挙に解決し、更に修景や省資源もできるのが、『笠コンフレーム』です。

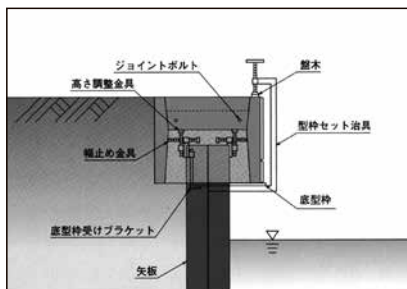
### 特 長

- 1.工期の短縮が可能です。  
型枠が不要で、さらに作業の機械化ができます。
- 2.陸地側からすべて施工が可能であるため、  
作業環境の改善が図れます。
- 3.景観にも対応できます。
- 4.省資源ができます。型枠の木材などが不要です。
- 5.広幅型・ハット形鋼矢板にも対応できます。

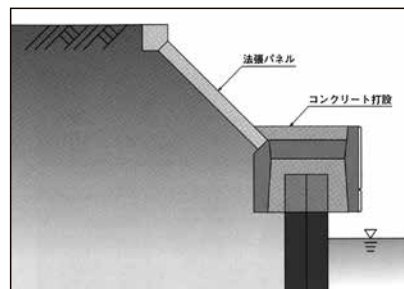


施工事例

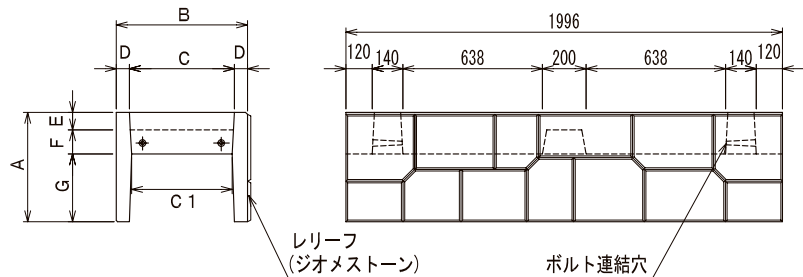
### 標準施工図



### 法止使用例



### ●標準タイプ



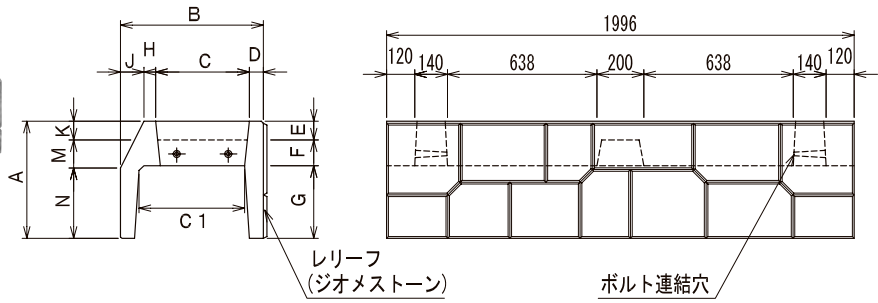
サイズ	寸法仕様 (mm)							参考質量 (kg)	中詰めコンクリート量 (m3/本)	適用参考例														価格 (円)
	A	B	C	C1	D	E	F			G	U形鋼矢板										ハット形鋼矢板			
										IA	II	IIA	IIW	III	IIIA	IIIW	IV	IVA	IVW	VL	VIL	10H	25H	
400	500	380	370	60	60	90	250	330	0.28	●														
400	550	430	420	60	60	90	250	340	0.32	●	●													
450	550	430	420	60	60	90	300	370	0.36	●	●													
500	600	480	460	60	80	110	310	430	0.44	●	●	●	●	●									●	
500	700	580	560	60	80	110	310	450	0.53				●	●	●	●								●
600	700	580	560	60	80	110	410	520	0.65				●	●	●	●								●
600	800	680	660	60	80	110	410	540	0.76							●		●	●	●	●			

※上記表は、矢板工における施工管理基準(±100mm)に基づく適用参考例です。上記以外の適用についてはお問い合わせ下さい。

※質量は表面模様付きの質量を示しています。

# 笠 コ ン フ レ ー ム

●法止タイプ



(ご注意) 上図はサイズ500×610以上を示します。400×500は形状が若干異なります。

サイズ	寸法仕様 (mm)													参考質量 (kg)	中詰めコンクリート量 (m3/本)	適用参考例											価格 (円)						
	A	B	C	C1	D	E	F	G	H	J	K	M	N			U形鋼矢板										ハット形鋼矢板							
														IA	II	IIA	IIW	III	IIIA	IIIW	IV	IVA	IVW	VL	10H	25H							
400	500	372	370	60	60	90	250	23	45	0	68	272	300	0.29	●																		
500	610	400	451	60	80	110	310	50	100	80	120	300	480	0.41	●	●	●		●								●						
500	700	490	540	60	80	110	310	50	100	80	120	300	500	0.49			●	●	●	●		●											●
500	750	540	591	60	80	110	310	50	100	80	120	300	500	0.54						●	●	●	●										●
600	800	590	641	60	80	110	410	50	100	80	120	400	590	0.72								●		●	●	●							

※上記表は、矢板工における施工管理基準(±100mm)に基づく適用参考例です。上記以外の適用についてはお問い合わせ下さい。

※参考質量は表面模様付きの質量を示しています。

布設歩掛り (100m当たり) (ご注意)

名称	数量(型枠あり)
世話役(人)	4.8
特殊作業員(人)	2.2
普通作業員(人)	20.2
型枠工(人)	1.5
ラフテレーンクレーン運転(日)	4.0
諸雑費率(%)	29

- 1.左表の労務歩掛りは、高さ調整金具取付、ブロック連結、中詰めコンクリート打設(型枠が必要な場合は、型枠設置・撤去)、養生等の労務を含みます。
- 2.本歩掛りは、運搬距離30mまでの小運搬を含んでいますが、これにより難しい場合は別途考慮します。
- 3.ラフテレーンクレーンは賃料とします。
- 4.諸雑費は、労務費、機械賃料の合計額に左表の率を乗じた金額を上限として計上します。なお、諸雑費に含まれる内容は次の通りです。

[諸雑費]

基礎碎石の敷設・転圧労務・基礎碎石の材料投入労務・締固め機械運転経費、電力に関する経費、型枠持上(下)機械経費、パイプレータ・コンクリートバケツ・電気ノコギリ・電気溶接機等損料、碎石・調整金具・連結金具・目地材・溶接棒・型枠材・剥離材の材料費。

- 5.諸雑費は、基礎碎石の有無によらず適用できます。ただし、敷均厚は10cm以下を基準とします。
- 6.諸雑費の基礎碎石は、材料の種別・規格に関わらず適用できます。
- 7.平成20年度国土交通省土木工事積算基準 笠コンクリートブロック据付工を引用しています。